第５学年　総合的な学習の時間指導案（略案）

令和２年９月 28 日（月）第１～６校時
教室・家庭科室・理科室・園舎２階・校庭・体育館
第５学年　　48 名

１　単元名　　「バーチャル女神湖」

２　目標

○「バーチャル女神湖」の内容を企画・提案・実行する体験を通し、課題設定能力や問題解決能力を高める。

○集団行動の中で協調性・自律性を育てる。

○課題解決の過程で幅広いひと・もの・ことと関わり、学びの意欲を促進する。

３　単元の観点別評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①インタビューの仕方や依頼の手紙の書き方、ＦＡＸの書き方、物品の注文の仕方、電話での問い合わせの仕方など、実生活の中で活用できる。 ②各教科で身に付けた表現方法を活用する。	①　課題解決に効果的な手段を選び取り、必要な情報を集める。 ②課題解決までの見通しをもち、必要に応じて修正しながら追及する。	①自分とは違う意見や視点を受け入れる。 ②仲間と協力し、役割を意識して課題を解決する。

４　指導計画　（全 18 時間扱い）

	ねらい	○主な学習活動　◆研究との関わり【】めざす児童像
1（課題設定）	「バーチャル女神湖」について知り、コロナ禍における開催の条件を理解し、できそうな企画を考える。	○インターネットで検索し、女神湖についての情報を収集する。 ○昨年度の女神湖の行程表を見て、どのような活動を行う予定であったのかを知る。 ○コロナ禍においても行うことができそうな企画ややりたいことを考える。 ◆実生活と関わりのあるテーマの設定【自ら活動に取り組む】
2（情報の収集）	音と香りの専門家の話を聞き、バーチャル女神湖の企画をよりよくするために取り入れたいにおいや音について考える活動を通して、課題解決のための情報を収集する。	○児童がアポイントメントをとってきた音の専門家、香りの専門家の方の話を聞く。※１ ○女神湖で聞こえそうな音や香りについて想像する。 ○自分が考えている企画をよりよくするために音や香りを取り入れたいか、また、取り入れる場合にはどのようなものを取り入れたいか考える。 ◆思考・判断のための素地の醸成【考え・判断できる】 ◆幅広い人・物・こととの関わり【自ら活動に取り組む】
実1	実行委員の募集	○司会や、企画ごとの調整を行う実行委員※２の募集
3	行動班を決める活動を通して、友達との協調性を育む。	○当日行動する班を決める。 ○各班の中で班長・しおり・保健・会計の係を決める。
実2	提案された企画のグルーピング	○第１時に作成した企画書を読み、同じような企画をグルーピングする。
実3	１日の企画の流れの決定	○第２回の実行委員会でグルーピングした企画を１日の流れに沿って当てはめ、すべての企画が実施できそうか確認する。
4	自分の希望する企画の運営に携わる活動を通して、学びへの意欲を養う。	○企画の担当を決める。

※１「女神っこクラブ」
本校児童が夏休み中に「学校でやるバーチャル女神湖のときに、目を閉じたら、女神湖の風の音や湖の音、においがするような場をつくりたい。」とＳＮＳ等で訴えたところ集まってくださった専門家の皆さん。25 名おり、香りの専門家、音の専門家、焚火の専門家、ＶＲの専門家など分野は多岐にわたる。

※２「実行委員」
有志 10 名からなる。学年全体で話し合う内容について事前に考える、話し合いの場の準備、進行、企画同士の調整などを行う。

5(情報の整理・分析)	企画書の作成を通して、課題解決の見通しをもつ。	○企画ごとに内容、使用場所、協力してほしい人、必要な物などを決める。
6～10	互いの考えを伝え合い、自分とは異なる意見や視点を取り入れ、よりよい企画にする。 企画の準備や係の仕事を進める中で、課題解決の過程を学ぶ。 幅広い人・物・ことと関わる。 課題の解決のために、各教科で学習した知識・技能を活用する。	○企画ごとに話し合い、必要な物の作成や準備を進める。 ○保護者や校内の先生へ物品貸与や依頼の手紙を書く。 ○外部の方にお願いの電話をかける。 ○商品の注文のＦＡＸを送る。 ○校長先生に取り寄せなどの許可をもらう。 ○しおりを作成する ○健康カードを作成する ◆子どもの意見や判断の尊重【肯定的・共感的な人間関係の構築】 ◆幅広い人・物・こととの関わり【自ら活動に取り組む】 ◆児童同士の協働的な学び【思考・判断できる】 ◆縦と横のふりかえり【思考・判断できる】
11(表現)	リハーサル	○企画ごとリハーサルを行う。
12	友達と協働して前日準備を行う中で、主体性を養う。	○当日の活動場所に必要な物を運び込み、準備を行う。
13～18【本時】	バーチャル女神湖の活動を行う中で、友達と協働して活動を行う姿勢を高める。	○バスレク ○うちわ・封筒・しおりの作成 ○ゲーム（フルーツバスケット・巨大すごろく・逃走中） ○ぶどう狩り ○お弁当・アイス ○キャンプファイヤー ○まくらなげ ○きもだめし ○バスレク ◆個性が発揮できる場の設定【行動できる】 ＊この日の動画を様々にご協力いただいた女神っこクラブの方に送り、感想をもらう。
19(まとめ)	ふりかえり	○女神っこクラブの方からのコメントを見る。 ○この活動を通して、自分の新たな気付きや今後に生かせそうなことについて振り返る。 ○楽しかった企画やがんばっていた友達への「いいねカード」の記入 ◆外部から評価してもらえる場の設定【共感的・肯定的な人間関係の構築】 ◆相互評価できる場の設定【共感的・肯定的な人間関係の構築】

５　本時の学習指導（全 19 時間中の第 13～18 時）

（１） 目　標

責任をもって仕事をし、友達と協力して安全に楽しく活動をする。

（２） 展　開

○主な学習活動　・予想される児童の反応	・指導・支援　＊資料　◇評価（観点・方法）
バーチャル女神湖をしよう	
○出発式（各教室） ・実行委員が「みんなで守る約束」の確認をする。 ・保健係が健康カードを回収する。	・担任も健康カードを確認する。 ・マスクの着用を確認する。
○バスレク（各教室） ・教室をバスに見立て、プロジェクターで女神湖の景色を映し出す。 車内ではクイズなどのバスレクを行う。	・プロジェクター、ＰＣの準備を手伝う。 ・他学年の迷惑にならないよう、静かに移動するよう指導する。
○うちわ・封筒・しおりづくり （理科室・家庭科室） ・長野県から取り寄せた和紙とうちわの骨を使って、うちわ、封筒、しおりを作成する。	・手洗い・消毒の徹底を行う。 ・安全にはさみを取り扱っているか確認する。 ・お手伝いの保護者に挨拶をするよう指導する。
○ゲーム（各教室・校庭） ・女神湖フルーツバスケットをする。 ・女神湖すごろくをする。 ・逃走中をする	・熱中症や三密、けがなどが起こらないように声掛けをし、見守る。
○ぶどう狩り（藤棚） ・長野県産のぶどうを藤棚に吊り下げてぶどう狩りをする。 ・ぶどうは洗ってお弁当の時に食べる。	・安全に藤棚に吊り下げたり、ぶどう狩りをしたりできるよう手伝い、見守る。
○お昼ご飯・アイス・牛の乳しぼり（園舎） ・女神湖の音や香りを体験する。 ・お弁当を食べる。 ・長野県の牧場から取り寄せたアイスを食べる。 ・お弁当・アイスを食べ終わった人から「牛の乳しぼり」体験をする。	・手洗い、消毒を徹底する。 ・お弁当の交換の禁止について確認する。 ・アイスが衛生的に取り扱えるよう支援する。 ・アイスやぶどうのごみの処理について確認する。 ・乳しぼり体験の前に手洗い、消毒を徹底する。
○プラネタリウム	

・園舎の壁や天井に、蛍光塗料を塗った星を貼りつけ、女神湖の星空観察の気分を味わう。 ○キャンプファイヤー ・跳び箱の台とビニールテープ、サーキュレーターを用いてキャンプファイヤーを再現する。その周りで、友達との会話を楽しむ。 ○まくらなげ ・家庭科の時間に製作したまくらを使って、まくらなげを楽しむ。 ○きもだめし ・女神湖の夜に行う予定だったきもだめしを行う。 ○バスレク ・教室をバスに見立て、プロジェクターで落六小の景色を映し出す。車内ではクイズなどのバスレクを行う。 ○帰校式 ・さようならの挨拶 ・片付け	・やや暗くなるので、足元の安全をしっかり確認するよう注意する。 ・安全に活動できるよう、ルールをしっかり守っているか確認する。 ・やや暗くなるので、足元の安全をしっかり確認するよう注意する。 ・他の学年の迷惑にならない様、片付けることを指導する。 ◇仲間と協力し、役割を意識して課題を解決していたか。（主体的な学び・児童の姿） **研究との関わり** 個性が発揮できる場の設定 【行動できる】